

経済連情報 1

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2024. 1
● NO.1312

令和6年 役員年頭挨拶

Main topics

令和6年 役員年頭挨拶01

topics&news

大田・豊洲市場でトップセールスを開催

静岡県JAグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動...03

県下JAグループの連携を図る

令和5年度第2回静岡県JA営農経済部長会を開催...03

系統経済事業の発展を

令和5年度系統経営者研究会を開催04

農機事業持続化のため

クボタ・トラクタ技術研修会を開催.....04

県産レタスをPR

「うまレタ。」を県知事に贈呈04

令和5年産の収穫に感謝を捧げる

草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納...05

「すくすく米」で食育強化

学校給食に地場産米を供給05

新任営農経済職員が知識技能を習得

営農経済事業初任者研修会を開催05

販売計画などを共有

静岡県花卉販売対策会議を開催06

静岡いちごの品質と栽培技術の向上をめざして

第34回静岡県いちご果実品評会06

営農支援だより

「プチ」スマート農業のすすめ07

お知らせ

建設部からのお知らせ08

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介...09

野球部が東海北陸地区野球大会に出場!...09

令和5年度永年勤続表彰10



▲東京都中央卸売市場でトップセールスを開催



▲県知事に「うまレタ。」を贈呈



新年あけましておめでとうございます。
希望に満ちた新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。



経営管理委員会会長
河原崎 友二

令和6年の新春を迎え、本年が皆様方にとつて明るい年になりますよう、心からご祈念申し上げます。また、旧年中は本会の事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の我が国の経済は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、観光地やイベント等への人出が増加するなど社会生活の正常化への動きが進んだことに加え、半導体不足の緩和やインバウンドの増加により景況感に改善がみられました。また、ロシアのウクライナ侵攻等により食料安全保障や国内自給の重要性が再認識された

ところであります。一方、生活必需品や電気代・燃料代等のエネルギー価格の高騰、円安の加速、中東情勢の緊迫化など懸念材料も多く、予断を許さない状況です。

このような中、昨年は「JA静岡2か年計画」組合員とともに創造「農業と協同の未来」の初年度として、「産地の維持・拡大に向けた農業振興強化」「新時代に対応した総合事業改革」「持続可能な経営基盤の確立・強化」に取り組んでまいりました。農業を取り巻く環境は大変厳しく、課題も山積していますが、

令和6年も課題に対して緊急性と重要性を考慮し、組合員の皆様とJAグループの負託に応えることができるよう、スピード感を持って役職員一丸となつて取り組んでまいります。関係する皆様には引き続きご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

この1年間で静岡県JAグループにとつて、さらなる飛躍の年となることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては穏やかな新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の事業につきまして、
格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申
し上げます。本年が皆様方にとりまして
素晴らしい一年となりますよう、心から
ご祈念申し上げます。

さて、昨今の農業を取り巻く情勢をみ
ますと、農業就業人口が減少する中、農
業者の高齢化や後継者の減少に伴う労働
力不足の深刻化や耕作放棄地の増加に加
えて、農業生産資材物価指数の上昇率に
比べて農産物物価指数の上昇率は低調で、
資材価格上昇分が農産物価格に反映され
ない状況や頻発する自然災害、家畜伝染
病など生産基盤に多大な影響を及ぼす要
因も多く、目まぐるしく変化する環境へ
の対応が求められています。

このような中、昨年は「JA静岡2か
年計画」の初年度として、販売事業で
は「実需者や関係機関との連携強化によ
る販売機能の強化」「多様な実需者ニ

ズに対応した販売方法の拡大」「継続的
な農業経営を維持するための生産拡大の
支援」などに取り組みしました。また、購
買事業では「コスト低減と農作業の効率
化に向けた支援」「組合員や地域住民の
JA利用促進に向けた取組支援」などに
取り組みました。令和6年につきまして
も、2か年計画の達成に向け邁進すると
ともに、役職員が一人となり組合員・会
員・地域社会のニーズに応え、県連機能
を発揮し、信頼される経済連となるよう
引き続き取り組みを進めてまいります。
会員をはじめ組合員の皆様におかれま
しては、ご理解・ご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、本年が静岡県JAグループに
とって飛躍の年になることを祈念いたしま
して、年頭のご挨拶とさせていただきます。



代表理事理事長
石川 和弘



代表理事専務
鎌野 厚



常務理事
藤野 勉



常務理事
山下 昌徳



常勤監事
市川 敬弘

大田・豊洲市場でトップセールズを開催 静岡県JAグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動

みかん園芸部は12月14日、15日の両日、東京都内で「静岡県JAグループ青果・柑橘・花卉販売促進活動」を実施し、県内JAの会長・組合長ら役員約30人が参加しました。14日は販売懇談会を開催し、京浜地区の卸売会社に青果・柑橘・花卉販売の生産資材価格高騰による経営費の変化と県内JAグループの取り組みについて説明しました。また、主力品目の生産者代表によるビデオレターで産地の声を届け、産地とパートナー市場との連携を強化しました。15日は大田市場と豊洲市場でトップセールズを行い、市場関係者に高品質な本県農産物のPRを行いました。



▲大田市場でのトップセールズ



▲豊洲市場でのトップセールズ

会場では、出荷の最盛期を迎える青島みかん、静岡いちご、レタスなどの農産物を展示した他、静岡いちごのPR活動を行う「静岡いちご娘」より来場者に本県産のいちごとみかんを手渡し、消費拡大と販売促進を呼びかけました。



▲展示された県産農産物（大田市場）



▲いちごとみかんを手渡す静岡いちご娘



県下JAグループの連携を図る令和5年度第2回静岡県JA営農経済部長会を開催
企画管理課は12月1日、県農業会館で「令和5年度第2回静岡県JA営農経済部長会」を開き、県内JAの営農経済部門担当部長ら38人が参加しました。

開催に先立ち、同部長会の会長を務めるJAとびあ浜松の山田喜昭営農生産部長が「部長会での情報交換を通じ、JAが組合員と地域にとつてなくてはならない存在であり続けるための事業展開に役立てて欲しい」と挨拶しました。

情勢報告として、JA全農より全農の海外事業情勢（飼料・肥料）について報告した他、本会からは令和5年度の決算見込みと事業概況、令和6年度事業計画（案）などを共有しました。

系統経済事業の発展を 令和5年度系統経営者 研究会を開催

本会とJ A静岡中央会、静岡県信連、全共連静岡県本部は12月8日、静岡市内で「令和5年度系統経営者研究会」を開き、県内J Aの組合長ら115人が出席しました。

本県4連合会合同による協議を通じて、県域の一体性と協調性を高めることが目的で、各連合会から令和5年度の事業状況や令和6年度の事業計画などを共有しました。本会からは、河原崎友二経営管理委員会会長が挨拶し、石川和弘代表理事理事長が令和6年度の事業計画（案）について報告しました。



▲挨拶する河原崎会長

農機事業持続化のため クボタ・トラクタ技術 研修会を開催

農業機械課は11月21日～22日の2日間、焼津市の同課で「クボタ・トラクタ技術研修会」を開き、県内J Aの担当者ら29人が参加しました。

研修では、実演機2台を使用し、トラクタの基礎知識として自動化制御の概要、故障診断ツールの使用方法としてサーキットテストの取扱い、点検方法などの講義を行いました。県内J Aの農業機械センターでは、収支改善、若手職員の育成が課題となっており、各J Aと本会が連携し、課題解決に向けた合同プロジェクトを進めています。

同課は「今後はトラクタ以外にも積極的に県内で修理整備技術に関する研修会を開催し、職員の技術向上と農機事業の持続化につなげたい」と話しました。



県産レタスをPR 「うまレタ。」を県知事に贈呈

11月21日、静岡県レタス協議会（事務局・野菜花卉課）は、静岡市葵区の静岡県庁で静岡レタス「うまレタ。」を川勝平太静岡県知事、出野勉副知事に贈呈しました。同協議会の神崎智洋会長（J Aハイナンレタス委員会委員長）ら7人が、今シーズンの本格出荷を前に生育状況を報告し、消費拡大をPRしました。「うまレタ。」は、静岡県産レタスの統一ブランドで、同協議会が平成30年にブランド化しました。

神崎会長らは「本年度は台風などの被害が少なく、生育は順調で品質の良いレタスが出荷できる見込み、一生懸命作ったレタスを多くの人に



▲川勝知事への贈呈

食べてもらいたい」と報告し、川勝知事は「品質の高い『うまレタ。』ブランドをぜひアピールしてほしい。県としても生産と消費の両面で協力したい。」と話しました。



▲出野副知事への贈呈

令和5年産の収穫に感謝を捧げる

草薙神社新嘗祭・祈願祭で県産米を奉納

食糧課は11月23日、静岡市清水区の草薙神社で執り行われた新嘗祭で、令和5年産米の収穫に感謝を捧げるため県産コシヒカリを奉納しました。



▲新嘗祭で新米を奉納する関係者



▲祈願のようす

また、併せて開催した祈願祭では、自動車販売店を運営するトヨタユナイテッド静岡(株)とともに、奉納した米と同じ県産コシヒカリに、健康長寿、病傷平癒、合格祈願、商売繁盛などをご祈禱しました。ご祈禱を受けた米は、同社協力のもと受検生へ合格祈願米として配布する他、同神社で撒餌米(てっせんまい)として頒布、本会が「精米2合パック(メツセージライス)」として販売しました。また、本会直営焼肉店「駿府の肉処静岡そだち」で12月末まで提供しました。



▲合格祈願米

「すくすく米」で食育強化

学校給食に地場産米を供給

食糧課は、令和5年12月から令和6年3月までの期間、米飯給食の地場産化の取組としてJ Aふじ伊豆なんすん地区管内(沼津市、裾野市、長泉町、清水町)の4市町全ての小・中学校の給食で、地元で栽培された米を「すくすく米」として供給します。

取組は、J Aふじ伊豆が提案し、県学校給食会などの協力により実現しました。地場産米の使用で地産地消の促進や食育の強化につなげるとともに、地域の米の安定生産と継続的な販路の確保を図ります。



▲すくすく米を使用した献立

新任営農経済職員が知識技能を習得

営農経済事業初任者研修会を開催

生産振興開発課は、J A静岡中央会と共催で、営農経済部門の初任職員の研修会を、菊川市の静岡県農業研修会館などで開き、J A職員ら40人が参加しました。

研修会は、前後期で2回実施し、今回は後期日程の開催となりました。第1班は11月28日・29日、第2班は12月5日・6日のそれぞれ2日間実施しました。

参加者は、土壌診断の基礎知識や農作業事故に関する講座などを受講した他、磐田市の県農林技術研究所とJ A遠州中央のファーマーズマーケットを視察しました。また、チンゲンサイの生産者、中村雅俊さんが「営農指導員へ望むこと」と題して講演を行いました。

研修会の最後には参加者一人一人が決意表明し、信頼される営農指導員を目指すことを誓いました。



▲農林技術研究所を視察する参加者

販売計画などを共有

静岡県花卉販売対策会議を開催

野菜花卉課は11月17日、静岡市駿河区の県農業会館で「令和5年度静岡県花卉販売対策会議」を開き、主力の卸売会社、県内JA、本会などから関係者26人が出席しました。

会議では、卸売会社が花きの消費動向と市場の情勢を報告し、各JAの花き担当者からは産地における品質維持と安定出荷の取組として夏場の高温対策などの生産振興について紹介しました。また、生産コストの上昇が農業経営に大きな影響を与えていることを報告しました。

本会は、各品目の秋冬期出荷計画と販売戦略を共有し、令和5年度の花き販売目標金額は61億円としました。



静岡いちごの品質と栽培技術の向上をめざして

第34回静岡県いちご果実品評会

静岡県野菜振興協会（事務局：野菜花卉課）は12月19日、県農業会館で「第34回静岡県いちご果実品評会」を開催しました。

品評会は、生産技術と品質向上が目的。県内10JAから「紅ほっぺ」117点、「きらび香」33点、章姫1点の計151点が出品され、最高位の金賞1席・農林水産大臣賞は、JA大井川の増田昌弘さんの「紅ほっぺ」が受賞しました。

県農林技術研究所の岩崎敏之所長が審査長を務め、県職員や市場関係者、消費者代表ら14人が、形状や色



▲外観審査のようす



▲金賞に入賞したいちご



▲金賞1席 増田昌弘さん（JA大井川）の紅ほっぺ

沢、玉そろいなどの外観と食味、肉質などの内容を審査。出品物の最高糖度は「紅ほっぺ」の15.3度、平均糖度は「紅ほっぺ」が11.3度、「きらび香」が12.1度でした。

上位入賞者の表彰は、令和6年7月9日に開催する「静岡県いちご生産者研究大会」で行います。

金賞受賞者は次のとおり（敬称略）。

賞	JA名	氏名	品種	特別賞
金賞	1席	JA大井川 増田 昌弘	紅ほっぺ	農林水産大臣賞 静岡県農業協同組合中央会会長賞 静岡県京浜地区果実流通協議会会長賞
	2席	JA遠州夢咲 勾坂 佳弘	紅ほっぺ	関東農政局長賞 静岡県経済農業協同組合連合会理事長賞
	3席	JA遠州夢咲 小田 貴生	紅ほっぺ	静岡県知事賞 静岡県信用農業協同組合連合会理事長賞
	4席	JA遠州夢咲 渡邊 裕介	紅ほっぺ	静岡県農林水産業振興会会長賞 静岡県厚生農業協同組合連合会理事長賞
	5席	JAふじ伊豆（伊豆の国地区） 永倉 玄太	きらび香	静岡県経済産業部長賞 全国共済農業協同組合連合会静岡県本部長賞

「プチ」スマート農業の すすめ

一 はじめに

スマート農業技術の開発が進められています。自動走行のトラクターなどのニーズが新聞やTVを賑わしています。ただ、現時点では非常に高価で作目も限定され、違う世界のここのようです。

それでも、電動化などの資材進化の波は、身近なところまで来ています。今年の夏は、空調服を使用した方も多いと思います。猛暑の中での作業に必須の資材となっています。これ以外にも様々な資材・機材が進化しています。スマート農業というにはおこがましいので、ここでは「プチ」スマート農業として、二つの機材を紹介します。

二 電動一輪車

柑橘では収穫や施肥などで重量物を動かす作業があります。平坦な園地では、四輪やクローラーのエンジン式運搬車が、傾斜地や段畑では、一輪車（ネコ車）が使われてきました。一輪車は、通路がないような園内でも取り回しやすく、

比較的安価です。しかし、荷物が載ると腕力が必要で、上り道を押していくのは非常に大変です。エンジン付の一輪車もありますが、車体が重くなります。

近年、自動車などのEV化と同じように、電動化は一輪車にも波及してきました。しかも、ホイール内にモーターがある車輪を、日ごろ使っている一輪車に取り付けて電動化することもできます。タイヤを交換するような作業で改良できます。重量の増加もエンジンほどではありません。スイッチ一つで動き、取り扱いも容易です（写真1）。

柑橘産地では、傾斜地の園地が多いJ-Aふじ伊豆の西浦地域を中心に利用が広まっています。



▲写真1 狭い園地でも移動は容易
(右上)モーターを内蔵した車輪

三 電動バサミ

電動せん定バサミも、産業機器の電動化の恩恵といえます。これまでも電動バサミはありましたが、価格や重量、バッテリーなどが課題となり、利用は限られていました。

建設現場では、手持ちで使うドリルやドライバーなど数多くの道具が電動化されています。ほかに様々な機器が開発生産されています。その流れは農業用機器にも及び、比較的安価に商品化されるようになりました。電動せん定バサミ（写真2）もその一つです。

販売されている電動せん定バサミの多くは、重さ1kg弱で交換式バッテリーを内蔵しています。軽くなったと言っても、まだ重いと思われる方もあると思います。ただ、従来はノコギリが必要な太枝も簡単に切れます。バッテリーも半日程度は持ち、予備が1個あれば、一日の作業をカバーできます。どちらかというと、細かな作業よりも、太い枝を切ることが多いウメなどのせん定に、適していると思います。せん定バサミ、電動バサミ、ノコギリの3種を使い分けてもよいでしょう。



▲写真2 太い枝も容易に切ることができる

四 おわりに

最後に使用上の注意点を述べておきたいと思います。いずれの機器も安全性には留意されていますが、簡単に大きな力が出る機器です。利用する際は、準備や手順などを把握しておくことが必要です。また、電気製品ですので、水濡れには要注意です。機器が動かなくなるだけでなく、発火などの危険性もあります。

今回紹介した以外にも農業に使えるような電動機器が、商品化されはじめています。上手に使って「プチ」スマート農業を実践しましょう。

（柑橘果樹課 技術コンサルタント 吉川公規）

建設部からのお知らせ

担当 建設部 054-284-9523

建設部は組合員の皆様に快適な住環境を提供するためリフォーム事業に取り組んでおり、予算と希望に合わせ幅広くお手伝いをしています。

清水農業協同組合

風格ある佇まいを引継いだ住まい 住友林業ホームテックの 旧家・古民家リフォーム

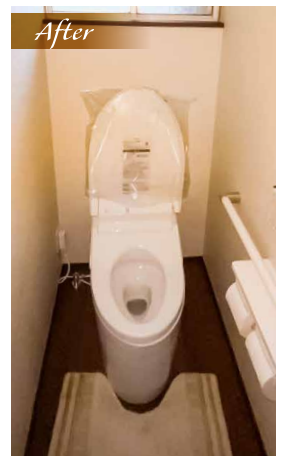
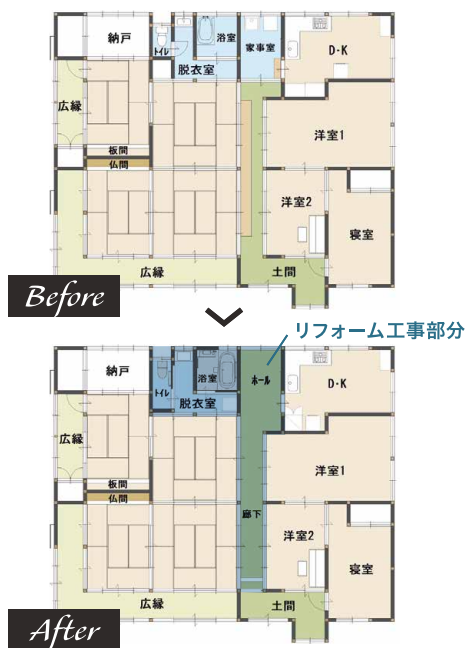
築約150年となる旧家にお住まいのN様。
今回「旧家リフォーム」に踏み切った理由は、水まわりと共用廊下をご家族のご要望に合わせて改修しようと決断されたからでした。JAグループと一緒に計画素案から打ち合わせを重ね、高い技術力を持つ住友林業ホームテック(株)を施工者として選定し、令和5年9月末の工事完了に至りました。
JAしみずと本会は、施設建設委任契約によりN様に代わって工事検査を実施し、工事品質確保のお手伝いをしております。



物件データ【旧家】

- 所在地／静岡県清水区
- 家族構成／N様ご夫婦、娘さん（計3名）
- 築年数／約150年
- 工事面積／約23㎡
- 施工内容／水まわりと廊下のバリアフリーリフォーム（断熱・浴室・洗面・トイレ・廊下）

以前のトイレはスペースが狭く、使い勝手も良くありませんでした。
また、浴室や洗面は断熱性能が低く、冬場の寒さがこたえました。



浴室は入り口の段差を解消し、使いやすい手すりも設置。入った瞬間から心地よい断熱構造の床や、お掃除がラクになる機能も充実。

洗面は広々としたボウルで、機能もデザインも大幅に進化。家事も身支度もキレイに楽しく。

トイレはスペースを広げて快適性がアップ。出入りもラクラクになりました。

「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

担当：食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全11回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和5年度の第8回目（12月16日）の放送では、タレントの村上佳菜子さんと本谷育美アナウンサーの2人が三島市と沼津市から「するがの極」の令和5年産の新米を紹介しました。「するがの極」は、JAふじ伊豆なんすん地区を中心に生産される地域のブランド米で、厳選された「きぬむすめ」の一等米のみを使用し、粘りが強くもちもちとした食感が特徴です。

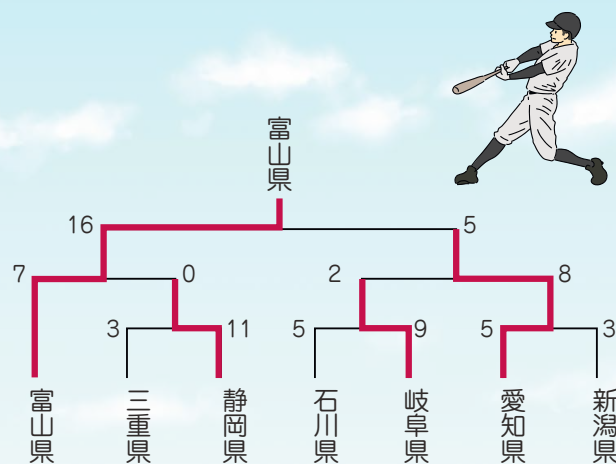
番組では、ビデオメッセージで出演したJAふじ伊豆の生産者、加藤祥行さんが「炊き上がりが艶やかで粘りが強く、美

味いのお米です。ぜひ食べてみてください」と話し、「するがの極」をPRしました。



令和5年度東海北陸地区県経済連・全農県本部親善野球大会に出場！

9月8日と9日、本会野球部は、富山県で行われた令和5年度東海北陸地区県経済連・全農県本部親善野球大会に出場しました。本県をはじめ全7チームが出場し、トーナメント形式で優勝を争いました。本会は惜しくも準決勝で敗れてしまいましたが、職員相互の親睦を深めました。



令和5年度 永年勤続表彰者



常務理事 山下 昌徳 代表理事理事長 石川 和弘 増田 亮太 夏目 英俊 夏目 泉 常務理事 藤野 勉 (右上) 手塚 弘樹 (右上) 森田 貴之
 代表理事専務 高木 一広 山内 唯晃 永田 晋也 長橋 隆史 村松 俊典 石田 政之 鎌野 厚
 永井 公子 稲垣 まさ子 杉山 忍 杉山 富美子

勤続 25 年			
	氏 名	所 属	採 用 日
1	手 塚 弘 樹	畜産バイオセンター	平成10年4月1日
2	森 田 貴 之	肥料農業課	平成10年4月1日
3	増 田 亮 太	食糧課	平成10年4月1日
4	永 井 公 子	総合エネルギー課	平成9年4月1日
5	杉 山 富美子	柑橘果樹課	平成10年4月1日
6	杉 山 忍	肥料農業課	平成9年10月1日
7	稲垣 まさ子	建設課	平成10年4月1日

勤続 30 年			
	氏 名	所 属	採 用 日
1	長 橋 隆 史	食糧部	平成6年4月1日
2	夏 目 泉	営農資材課	平成6年4月1日
3	石 田 政 之	食肉課	平成6年4月1日
4	夏 目 英 俊	肥料農業課	平成6年4月1日
5	高 木 一 広	食糧課	平成6年4月1日
6	山 内 唯 晃	中部生産資材課	平成6年4月1日
7	村 松 俊 典	西部生産資材課	平成6年4月1日
8	永 田 晋 也	総務部付外向	平成6年4月1日



静岡みかん

JAふじ伊豆 JA遠州夢咲
JAしみず JAとびあ浜松
JA静岡市 JAみっかび
JAおおいがわ 丸浜柑橘連
JAハイナン

無病良災
美味し〜海と山を愛する

静岡みかんは健康成分βクリプトキサンチンが入っています

静岡県のJAは熱海富士・翠富士を応援します

JA 静岡経済連柑橘委員会

静岡みかんスペシャルサイト公開中

静岡みかん

検索

JAふじ伊豆 JAしみず JA静岡市 JAおおいがわ JAハイナン JA遠州夢咲 JAとびあ浜松 JAみっかび 丸浜柑橘連

担当：みかん園芸部 柑橘果樹課 (TEL：054-284-9912)

